

# いしかわ

2018 June  
第701号  
平成30年  
6月1日発行



特集

2~3面

## 児童・生徒を交通事故 から守りましょう

一般社団法人いわき石川青年会議所（添田真貴理事長）による第36回交通安全教室は5月7日、石川自動車教習所で行われました。この教室は、石川郡内の小学1年生や支援学校の児童を対象に毎年行われています。児童は、正しい横断歩道の渡り方などを通じて、交通ルールを学んでいました。

【写真上】大きく手を挙げて横断歩道を渡ります  
【写真下】白バイについて教わりました

交通安全  
教室

# 児童・生徒を 交通事故から守りましょう

全国では、交通事故による重大な事故が起きています。悲惨な交通事故を起こさないためにも、歩行者、運転者それぞれが交通ルールを守るようにしましょう。



## 中学・高校生の自転車による事故に注意!

中学生になると、通学手段として自転車の利用が挙げられます。警察庁「児童・生徒の交通事故」によると、中学・高校生の自転車乗用中の事故による死傷者数は「出会い頭」が60・6%と、事故類型別全体の大半を占めています。また、出会い頭事故の衝突地点別死傷者数は「交差点」で81・9%と、歩行者、自転車、自動車が多く往来し、見通しの悪い場所が非常に危険であることが分かります。

また、自転車乗用中に、事故による被害を受けるだけでなく、加害者になり得ることにも注意が必要です。雨天時の傘差し運転や、スマートフォンを使用しながらの運転など、運転への注意が散漫になってしまって、前にいる歩行者などに気づかず衝突する事故が起きてしまいます。自転車も自動車同様に、人や物と接触すれば重大な事故につながる恐れがあります。

## 交通事故に遭わない・交通事故を起こさないために!

### ●信号、前後左右をよく見て!

道路を渡るときは、必ず立ち止まって前後左右を確認し、信号をよく見て、自動車や自転車が止まつたことを確認してから横断しましょう。



### ●バスやトラックに注意!

特に小学校低学年の児童は、バスやトラックなどの車高が高い自動車の死角に入りやすく、巻き込まれる事故が発生しています。自動車の周りでは絶対に遊ばないようにしましょう。



### ●「ながら運転」はダメ!

自動車や自転車を運転中に、スマートフォンを操作したり、イヤホンをして音楽を聞いたりするなどの「ながら運転」は、注意力が散漫になり危険なので絶対にやめましょう。



### ●ヘルメットの着用!

自転車乗用中の交通事故では、頭を打つけがが多く発生しています。ヘルメットを着用し、頭を保護するようにしましょう。



## 小学1年生の歩行中の事故に注意!

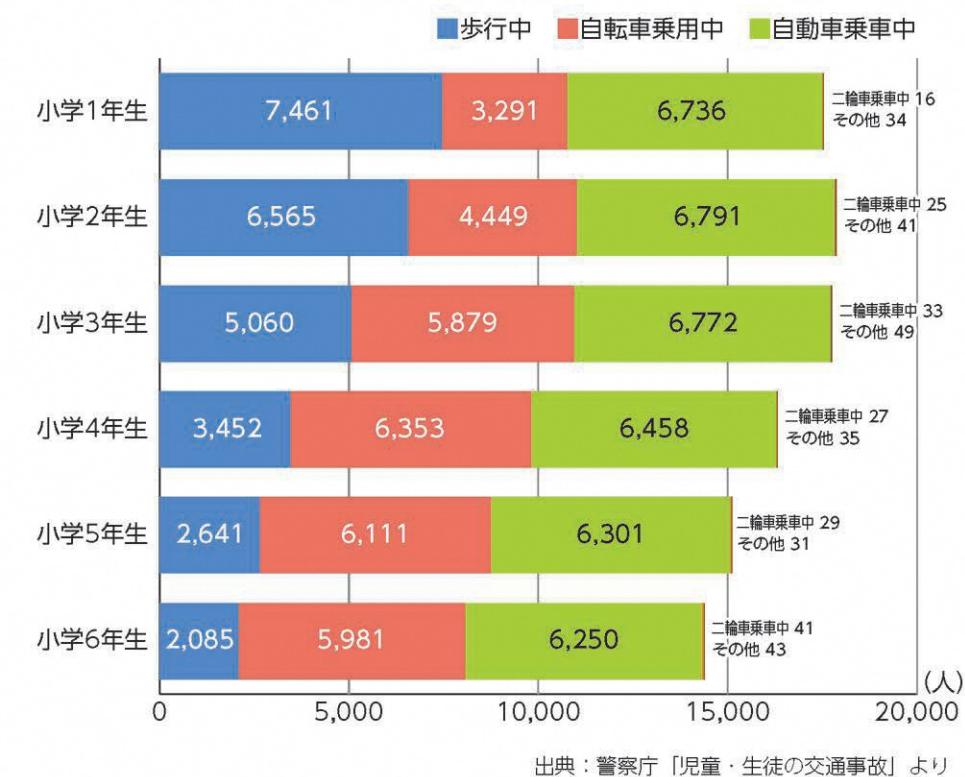
小学校に入学すると、登下校など子どもだけで歩く機会が多くなります。

平成25年から平成29年の小学生の

状態別死傷者数（全国）を見てみる

と、低学年から中学年の事故による死傷者数が多いことが分かります。中でも、小学1年生の歩行中の事故が多く、学年が高くなるにつれ死傷者数は減少していますが、特に注意する必要があります。

### 小学生の状態別死傷者数 H25~H29 (5年)



出典：警察庁「児童・生徒の交通事故」より

# 石川桜まつりを開催しました

2万2千人の観桜客

美しい桜に笑顔いっぱい

町では、4月を「いしかわ桜月間」

とし、期間中さまざまなイベントを開催しています。

今年は、全国的に例年より早い開花となり、石川の桜も昨年より早い開花となりましたが、美しく、そして元気に咲き誇る姿を今年も見せてくれました。

1日から始まった桜のライトアップでは、今出川・北須川沿いに咲く桜がより美しく、幻想的に照らし出され、夜桜を一目見ようと、多くの観桜客が訪れました。7日に行われ

当日は、家族連れなど多くの来場者で賑わい、おいしい食べ物が並ぶ露店のほか、臨時物産店「桜の駅」

での、春を彩る花見弁当やスイーツなど、「桜」と「食」で春を楽しむ笑顔のひとときとなりました。ステ

た「第10回石川さくらロードレース大会」では、桜に囲まれた川沿いのコースを、個人、親子それぞれが笑顔で駆け抜け、さわやかな汗を流していました。

今年の桜まつりのメイン会場は、文教福祉複合施設（旧石川小学校）の改修工事のため、あさひ公園及びまちなか交流広場に会場を移して、14日及び15日に各種イベントが行われました。

当日は、芸能やフラダンス、さくらSTREET MUSICなどが行われたほか、会場周辺では、県立石川高校茶道部による「さくら野点」や子どもたちに大人気の魚つかみ大会が行われ、会場一体が春の賑やかな空気に包まれました。

今年の「いしかわ桜月間」における町内外からの観桜客は2万2千人。

美しく咲き誇る桜の姿は、見る方すべてに笑顔と癒やしを与えてくれます。来年も、町中が満開の桜で春色に染まりますように。

## Revive Ishikawa vol.4

～さくらの下で笑顔咲かそう～

復原された鈴木重謙屋敷「お休み処」として開放

年に引き続き行われた「Revive

Ishikawa vol.4～さくらの下で笑顔咲かそう～」。鈴木重謙屋敷跡地に主屋が復原され、オープンに先立ち、桜まつりが行われた15

日に1日限定で「お休み処」として一般の方に開放しました。

「お休み処」は、県立石川高校、学法石川高校の生徒が中心になって企画しました。まちなかを活気づけるほか、復原された主屋とともに自由民権運動発祥の地をPRしました。生徒たちがお茶やお団子、豚汁などを準備し、来場者に振る舞ったほか、大型絵本の読み聞かせや輪投げなどの遊びができるキッズコーナーも設けられ、最高のおもてなしとなりました。





## JBCF理事長就任 片山右京さんがあいさつに来町

一般社団法人全日本実業団自転車競技連盟（JBCF）の理事長に就任した元F1レーサーの片山右京さん（写真左から2人目）が5月7日、就任あいさつのため町役場を訪問しました。

毎年7月に開催している「石川サイクルロードレース」は、本町及びJBCFが主催しているもので、今年の同大会の開催協力あいさつも併せてありました。

片山さんは「公道を使用したレースは貴重。今後ともご協力をお願いします」とあいさつしました。



## いしかわ子どもの日フェスティバル 城彰二サッカースクール開催

今年で7回目となったきららサッカー連盟（江尻勝博会長）主催の「城彰二SoccerSchool」は5月4日、母畠レーキサイドセンター体育館で開催されました。

元サッカー日本代表の城彰二さん、フリースタイルフットボール世界大会準優勝の横田陽介さんを講師に招き行われました。

当日は、石川郡内の小学生約70人が参加し、城さんらとのプレーを楽しみながら熱心に取り組んでいました。

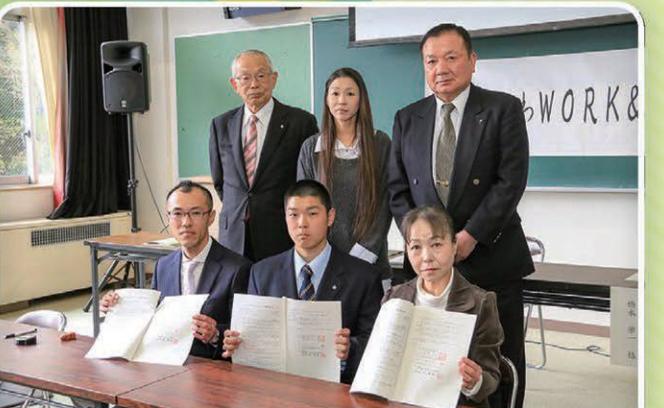


## 地域の無火災を目指して 町消防団春季検閲式

石川町消防団（永沼一夫団長）春季検閲式は4月15日、町総合体育館で行われました。

式では、永沼団長から加納武夫町長に点検者が委嘱され通常点検が行われたほか、各分団による小隊訓練が実施されました。

また、町長表彰として郷誠一前団長、桑澤裕宗前中谷分団長、添田善知前山橋分団長、佐藤秀樹前野木沢分団長に感謝状が、団長表彰として消防団在籍10年を超えた団員32名に永年勤続章が贈られました。



## キャリアチャレンジ実施へ 「いしかわWORK&LIFE教育」調印式

いしかわWORK&LIFE教育運営協議会（加納武夫会長）による調印式は4月17日、県立石川高等学校で行われました。

式では、就業実習（キャリアチャレンジ）を選択した同校2年生10名、3年生9名の生徒、保護者、校長及び実習を受け入れる町内の事業所等で協定を結びました。

今回で3年目となった同事業は、生徒の「やりたい仕事の実現」に向けてさまざまなサポートが行われ、進路の実現に向けた有意義な実習となることが期待されます。



## 大型連休恒例イベント 石川グリーンフェア開催

2018石川グリーンフェアが5月3日から5日にかけて、母畠レーキサイドセンターで開催されました。

グリーンフェアは、大型連休恒例のイベントで毎年開催されており、町内外からの多くの来場者で賑わいを見せています。会場には、植木や鉢植え、大きな庭石、ガーデニング用品が展示販売されたほか、食べ物屋台などが設けられ、来場者はさまざまな販売品に見入っていました。



## 小木芳郎さんが 知事表彰を受賞

平成30年度各種功労者知事表彰において、小木芳郎さん（板橋）が農業部門で受賞し、5月15日に加納町長へ受賞を報告しました。

小木さんは、平成14年から平成29年までの15年間町農業委員会委員として、うち平成23年から平成29年までは会長として、本町の農業振興に尽力されました。

小木さんは「皆さんのご指導の賜物であると感謝しています。これからも石川町の農業振興に力を注いでいきたいです」と述べられました。



## 今年で8年目 まちなか朝市がスタート

まちなか朝市のオープニングセレモニーは5月12日、まちなか交流広場（石川自治センター前）で行われました。

まちなか朝市は、11月17日までの毎週土曜日に開催されます。オープニングセレモニー当日の各店舗には、出店者が丹精込めて作った新鮮な農産物やお惣菜、加工品が並び、大勢の買い物客で賑わいを見せています。

※8月11日（土・祝）は翌日12日（日）へ開催日を変更、8月18日（土）はお休みとなります。

**取材します！** 身近に行われている楽しいイベントや明るい話題などを役場総務課までお寄せください。

## 認知症カフェ『話・和・輪の広場』

認知症の方とそのご家族、地域の方など誰でも参加でき、お茶や交流を楽しめます。誰もが気軽に集まって、認知症の困りごとをざっくばらんに話しましょう。あなたと同じ気持ちの方がたくさん集まっています。話して、和んで、輪っかのようにつながっていけるこの場所で、あなたのお越しをお待ちしています。

平成30年度開催日

6/21(木) 7/21(土) 8/21(火) 9/21(金)  
10/21(日) 11/21(水) 12/21(金) 1/22(火)  
2/21(木) 3/22(金)

- 時 間 午前10時～午後0時30分（入退室自由）
- 場 所 愛恵在宅介護支援センター（石川町字古館322-2）  
元北町大野病院
- 参加費 200円（飲み物+お菓子付き）

お問い合わせ先 愛恵在宅介護支援センター ☎26-0081



ともに認め合い  
支え合う社会へ

## ともに生きる

### 理解促進啓発事業を実施します 一 小中学生対象一

町では、毎年小中学生を対象に理解促進啓発事業を実施しています。この事業は、障がい者や高齢者等さまざまな方が暮らしている地域社会で「ともに生きる」明るい社会づくりのために、相手の立場になって考えることの大切さを学ぶことを目的としています。

事業の内容は、次の3つです。

1つ目は、障がい者・高齢者理解教室です。疑似体験グッズを着用し、障がい者や高齢者の身体の不自由さを体験し、当事者の気持ちを考えます。また、実際に車いすの操作方法についても学びます。

2つ目は、手話教室です。手話によるコミュニケーションを学び、聴覚や音声・言語機能の障害の理解を目指します。

3つ目は、認知症理解教室です。認知症という病気を学び、自分たちにできる支援を考えます。

今年度は6月から10月までの期間で、町内の小中学校4カ所で計10回開催する予定です。



## おじいちゃん おばあちゃん といっしょ



- どなんお孫さんですか？ 天真らんまんで素直な子です。
- おじいちゃん、おばあちゃんと何をして遊ぶのが好きですか？ 積み木やお人形で遊ぶのが好きです。
- お孫さんへメッセージをお願いします。 健康で元気に育ってほしいと思います。

石川文化幼稚園に通う後藤 奏絵  
ちゃん、妹の羽澄ちゃん、祖父の隆  
さん、祖母の高子さんです。



## 健康食育

毎年6月は  
「食育月間」  
毎月19日は  
「食育の日」



『食育』とは、生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるものであり、さまざまな経験を通じて「食」に対する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実現することができる人間を育てることです。

食育月間は、「食育基本法」により平成17年から定められたものです。

食育の日は、「食(しょく)」から「しょ→初→1、く→9」で「19」につながることや、「育(いく)」が「19」に考えられることから、毎月19日が食育の日となりました。

- 『食べる』ことは『生きる』ことです 子どものころから食事に关心を持ち、楽しく食べることは心にも体にも大切なことで、将来の健全で豊かな食生活につながります。この機会に、家族や友人と健康の基本となる『食』について考えてみませんか。

- できることから始めよう！健全な食生活を送ろう！
  1. 家族や友人と楽しく食卓を囲みましょう
  2. 栄養バランスのとれた食事を心がけましょう
  3. 1日3食！生活リズムを整えましょう
  4. 早寝！早起き！朝ごはん！を実践しましょう
  5. 「いただきます」「ごちそうさまでした」感謝の気持ちを込めてあいさつしましょう

- 6. 家庭菜園など、野菜の栽培や料理をしましょう
- 7. 食品の安全性に关心を持ち、安心できる食材を選びましょう





## 石川町第6次総合計画

# 第2回石川町振興計画審議会が開催されました

3月28日に第2回石川町振興計画審議会を開催し、石川町第5次総合計画総括の中間報告を行いました。（総括では、計画期間における事務事業実績、数値目標の達成度等から、町担当部局による内部評価に加え、昨年12月に実施した町民アンケートの結果、各施策に対する町民の意見を踏まえ、施策全体の総括と、次期計画への課題と方向をまとめました）

今後は、懇談会や分野別会議を開催し、町民の皆様のご意見を反映させた最終の総括と第6次総合計画の原案を作成する予定です。

## Q. 石川町の人口ってどうなっているの？これからどうなるの？

A. 本町の人口の推移は、平成2年国勢調査までは2万人以上の人口を維持していましたが、平成7年以降は、人口2万人を割り込み、平成27年国勢調査では15,880人となり、人口減少が急激に進行しています。

現住人口も、平成28年4月1日現在で15,621人、平成29年4月1日現在で15,349人、平成30年4月1日現在で15,070人と、毎年減少しています。

人口動態の推移は、社会動態では転出者の数が転入者の数を上回り、人口減少が続いている。自然動態では、平成27年からは出生者数が100人を割り込み、平成27年は85人、平成28年には86人、平成29年には67人となっており、出生者数が死亡者数を下回っています。

## 石川町の未来について話しませんか？

石川町の将来人口は、国の推計では平成60年に約1万人になると予測されています。これから石川町をどんな町にしていくべきなのか、新たな総合計画を策定していく中で、十分検討していきたいと考えています。今現在、第6次総合計画の原案作りに取り組んでいるところであります。その原案作りに町民の皆さんへの参加を募集します。詳しくは、行政だより募集記事をご覧ください。

## 保健センターの健康づくり事業について

平成30年1月から3月にかけて、全8回で「いしかわ健康大学～大切な人のために学びませんか～」を開催しました。

対象は、50～60歳代の保健協力員と町の健康づくりの事業等に参加している方で、健康づくりに興味があり、今後健康づくりのリーダーとして地域で活躍していただける方とし、26名が受講しました。

スポーツクラブ「ルネサンス」から運動等を専門に指導する方を講師に招き、内容は、初回と最終回に体成分や血管年齢の測定を実施、それ以外の回は食生活、メタボとコモ、肩こり腰痛対策等の座学とウォーキング、ボールエクササイズ、体幹トレーニング等の運動に関する講座を実施しました。

参加者は、毎回熱心に取り組み、運動サロンに参加されている方は、習ったことをサロンでもやってみたとの声も聞かれました。

今年度は、実際にサロンや自主グループで実践できる運動や脳活性プログラム等を研修し、町の健康づくりのリーダーを養成していきます。

なお、この事業は県の市町村先駆的健康づくり実施支援事業の補助を受けて実施しました。



体成分測定の様子



体幹トレーニングの様子



## 案内

### 定期救命講習会のお知らせ



②普通救命講習Ⅱ（4時間講習）  
主に成人に対してのAEDの使用を含めた心肺蘇生法、止血法、異物除去法を学ぶ

事故や急病は、いつ、どこで起るか分かりません。  
その場にいる人がいち早く正しい心臓手当を行うことにより、人がや病気の悪化を抑えることができます。そのためには、一人一人が正しい心臓手当の知識と技術を身に付ける必要があります。

石川消防署では、指導員の資格を持つ職員が講師となり、全国的に統された内容の心臓手当の講習会を定期的に開催しています。自分の大切な家族や友人、隣人の命を救うためにも、講習会を受講しましょう。

●受講対象者  
石川郡、須賀川市、岩瀬郡に在住または通勤・通学する小学生（高学年）以上の方  
●開催場所 石川町公民館  
●開催日時 7月8日(日) 午前9時  
7月26日(木) 午前9時  
●講習内容 ①普通救命講習Ⅰ（3時間講習）主に成人に対してのAEDの使用を含めた心肺蘇生法、止血法、異物除去法を学ぶ

### ここでの無料個別相談会のお知らせ



### H-I-V（エイズ）検査普及週間にについて

0248-175-14338  
(エイズ)検査普及週間です。  
日本では、エイズ患者とH-I-V感染者が年々増加しています。エイズは、H-I-V（ヒト免疫不全ウイルス）に感染することによって存症、ひきこもりや不登校でお悩みのある方やご家族の方、認知症の対応などの相談ができます。相談は無料で秘密は厳守します。

●受講料 無料  
●申し込み方法 受講日の5日前までに、所定の申込用紙に必要事項を記入の上お申し込みください。申込用紙は、最寄りの消防署（分署、分遣所）で入手するか、須賀川地方広域消防組合ホームページ（http://www.sukagawa19.jp）のダウロードサービスをご利用ください。また、電話による予約も受け付けておりますので、お気軽に予約・お問い合わせ先 石川消防署 救急係 26-13161

●日時 6月12日(火) 午後2時～午後4時  
●場所 石川町保健センター  
●内容 個別相談及び助言指導など  
●担当 心身医療クリニック（郡山市）院長 圓口 博史氏  
●予約制になりますので、事前に保健センターに電話でお申し込みください。  
●お申し込み・お問い合わせ先 石川町保健センター 26-8416

●心配ごと相談 定例行政相談  
●日時 6月8日(金)（弁護士相談会）午後1時～午後3時  
●場所 石川町公民館  
●お問い合わせ先 石川町社会福祉協議会 26-13793  
●要予約

「労働困りごと相談窓口」のお知らせ  
窓口のうちで起きている賃金未払いや退職、パワハラなどの労使問題についての相談をお受けします。  
相談は無料で秘密は厳守します。

福島県労働委員会事務局 024-1521-17596

0248-175-14338  
(エイズ相談専用)



# 公民館だより

## 公民館図書室からのお知らせ

### “おいしい本”あります

毎年6月は食育月間です。食育月間に合わせて、おいしい本、食に関する小説、料理やスイーツレシピの本、都道府県の郷土料理の資料など、毎日の食育のお手伝いができるおいしい本を用意して、皆さんのお越しをお待ちしています。

●食事バランスガイドを参考に1日の栄養バランス、食生活を考えてみてください。

厚生労働省ホームページ：<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/eiyou-syokuji.html>



### 6月10日は“時の記念日”です

時間や時計に関する本を集めました。ぜひ読んでみてください。



タイム・マシン	H. G. ウェルズ 作
モモ	ミヒヤエル・エンデ 作
時間の砂 上・下	シドニイ・シェルダン 作
限りある命だから	イレーヌ・マッカーシー 著
パラドックス13	東野 圭吾 著
その日の前に	重松 清 著

### 雨の日を楽しもう

もうすぐムシムシ・ジメジメする梅雨がやってきます。そんな梅雨を吹き飛ばせそうな、雨でも楽しく過ごせそうな本、“雨の日も楽しい”と思えるような雨・水がモチーフになっている絵本や小説などを展示・貸し出しています。雨の日には図書室でのんびりした時間を過ごしてみてはいかがですか？

みずたまのはなし	アンヌ・クロザ さく
しづくのぼうけん	マリア・テルリコフスカ さく
びっくり！おもしろ紙遊び	立花 愛子 著
あらしのよるに	きむら ゆういち さく
雨がしくしく、ふった日は	森 絵都 著
顔に降りかかる雨	桐野 夏生 著
慈雨	柚月 裕子 著
霖雨	葉室 麟 著



## 健康づくりチャレンジプログラム参加者募集!

健康づくりチャレンジプログラムは、健康総合企業「タニタ」と連携し、活動量計や体組成計を使って楽しく健康づくりに取り組むことができるプログラムです。参加者には特典も！ぜひこの機会に健康づくりをはじめてみませんか。



### こんな方におススメ！

- 健康づくりに興味のある方
- 運動しようと思ってもなかなか続けれられない方
- 健康経営を目指す企業・団体の方

平成30年9月～平成31年3月

※この期間に運動教室やウォーキングイベント等を開催します。

### 対象者

18歳以上（高校生を除く）の石川町民及び石川町に通勤されている方

### 募集人数

100名（先着順）

### 参加費

1,000円

### 申込期間

平成30年6月15日（金）～7月31日（火）まで（当日消印有効）

### 申し込み方法

- ①案内チラシ裏面の申込書（各戸配布または保健センターに配置）を持参または郵送
- ②インターネットの申し込みフォームからのお申し込み



### ★参加の流れ

7月31日までに  
参加申し込み

8月上旬  
決定通知書を受け取る

8月下旬  
初回セミナー＆計測会参加

9月から  
プログラム開始

### ★初回セミナー＆計測会

●日時 平成30年8月29日（水）午後1時30分～午後3時30分

●場所 石川町共同福祉施設 1階多目的ホール

●内容 体組成の計測、プログラム説明、活動量計配布など



### ★参加特典

- 参加者限定サイト「からだカルテ」では、歩数や体組成計の結果をグラフ化！また、健康レシピや健康コラムが無料で閲覧できます。
- プログラムへの参加や数値の改善で健康ポイントを付与！たまたま付いたポイントは石川さくらカード加盟店でお買い物ができる商品券と交換できます。

お申し込み・お問い合わせ先：石川町保健センター ☎26-8416

## 『家族への手紙コンクール』参加者募集

家族との心の交流により、「心の教育、命の教育」を推進し、さまざまな家族・大切な家族について手紙に記し、家族愛を一層確かなものとするため「家族への手紙コンクール」を開催します。日ごろから感じていることや普段はなかなか言えない感謝の気持ちなどを手紙に書き、伝えてみてください。

たくさんのご応募をお待ちしています。

●応募資格 町内在住もしくは町内の学校に通学している、小学1年生から高校3年生までの方

●作品の応募先

町内の学校に通学している方は、所属の学校に提出してください。町内在住で町外の学校に通学している方は、石川町公民館まで持参または郵送により応募してください。

●応募期間 7月20日（金）まで

●応募内容 小学1・2年生 200字以内

同 3・4年生 400字以内

同 5・6年生 800字以内

中学生以上 1,000字以上1,200字以内

●入賞作品の発表

審査を行い、広報いしかわで発表します。

●その他

入賞作品は「報道関係」等に公表しますので、あらかじめご了承ください。

なお、応募作品の著作権は、石川町教育委員会となります。

●お申し込み・お問い合わせ先

石川町公民館 ☎963-7845 石川町字高田200-2 ☎26-2566

## 石川町公民館サークル紹介コーナー

### 骨盤ヨガ教室

骨盤ヨガ教室の会員は現在17名で、郡山市の田邊えり先生を講師に、毎回楽しく活動しています。

●活動日時 毎週月曜日

午後7時～午後8時30分

※月曜日が休館日、祝日の場合は水曜日  
が活動日になります。

●活動場所 石川町公民館 日本間

### 《ひとこと》

疲れやすいと感じている方、骨盤ヨガと一緒に体を動かしてみませんか。

興味のある方は、ぜひ一度活動日に公民館へ足を運んでいただき、体験してみてください。  
参加者を募集しています。



お問い合わせ先…石川町公民館 ☎ 26-2566

## 『第34回石川町少年の主張大会』開催のお知らせ

小学生・中学生・高校生が家庭・学校・地域及び仲間とのふれあいを通して、日ごろ感じていること、考えていることを発表することにより、自立心や社会性を養うとともに、青少年健全育成について、町民の皆さんに理解と関心を深めるため「第34回石川町少年の主張大会」を開催します。お誘い合わせの上ご来場ください。

●日 時 6月16日（土）

午前10時～正午

●会 場 石川町共同福祉施設 多目的ホール

●主 催 石川町青少年健全育成推進協議会

●参加者 ①小学生 5名

②中学生 3名

③高校生 2名

●発表内容

主張の内容は、小学生・中学生・高校生が家庭・学校・地域及び友人関係等の関わり合いの中で、日ごろ考えていることを一人5分以内で発表します。

第40回少年の主張福島県大会への予選を兼ねます。（中学生が対象となります）



## 「みんな おいでヨ たのしい絵本」読み聞かせ会

小さいお子さんを対象に読み聞かせ会を開催します。

楽しい内容の絵本をたくさん朗読しますので、皆さん奮ってご来場ください。

●日 時 6月30日（土）

午前10時～午前10時30分

●場 所 石川町公民館 図書室

●テーマ 「もうすぐ七夕！」

●その他 事前の申し込みは不要ですので、直接会場へお越しください。



### 今後の予定

7月21日（土）暑いぞ！夏	12月22日（土）心あたたまるお話
8月25日（土）お化けがぞろぞろ	1月19日（土）寒い日のお話
9月15日（土）みんなげんきに！	2月23日（土）もうすぐ春！
10月27日（土）秋を楽しむ	3月16日（土）大きくな～れ！
11月17日（土）ゆかいな話	



## 鉱物の代表「水晶」展 8月から開催!

石川町が「鉱物の町」として全国的に有名な町であることは、たびたび本誌でも紹介してきました。中でも「水晶」は本町を代表する鉱物で、当資料館でも、展示標本を食い入るように見つめる来館者が多数訪っています。

明治時代の後期から昭和40年代（1900年代初め～1970年代初めごろ）まで、町内には多数の鉱山があり、焼き物の原料となる長石や珪石（石英）が大量に掘り出されていました。その珪石（石英）の結晶が「水晶」（Crystal クリスタル）です。

国内では、山梨県が水晶の産地として有名ですが、石川町も研究者や鉱物愛好家の間では、特に知られた産地になっています。

ただ、残念なことに現在では町内の鉱山はすべて閉山となり、水晶が身近なものであるとはいえない。それでも、町総合運動公園の愛称が「クリスタルパーク」であるように、今も私たち石川町民には水晶が町のシンボルとして存在しています。

歴史民俗資料館では、石川の鉱物を代表する「水晶」展を開催し、町民の皆様にあらためて「鉱物の町石川」をご理解いただこうと考えています。現在、当資料館が収蔵している標本や町内収集家愛蔵の標本、諸外国の水晶を多数展示します。国内屈指の水晶群をぜひご覧ください。



写真は、すべて町内産水晶

●企画展開催期間 平成30年8月7日（火）～11月4日（日）

休館：月曜日 ※月曜日が祝日の場合は、翌日が休館になります。

午前9時～午後4時（最終入館は午後3時30分）

石川町立歴史民俗資料館 3階 入場無料

講師：長瀬敏郎氏（東北大学准教授）

※期日が決まり次第、広報いしかわ等でお知らせします。

石川町立歴史民俗資料館は、町の文化財保存と活用、町民の教育、学術及び文化の発展を目的に、昭和49年（1974）秋に開館しました。公的施設としては、県下のさきがけのひとつです。

「資料館便り」編集：石川町立歴史民俗資料館  
〒963-7845 石川町字高田200-2 ☎26-3768

## いしかわの「お宝」②4

### 石川町指定文化財

#### 「安養寺の石造供養塔婆」（沢井字東内打所在）

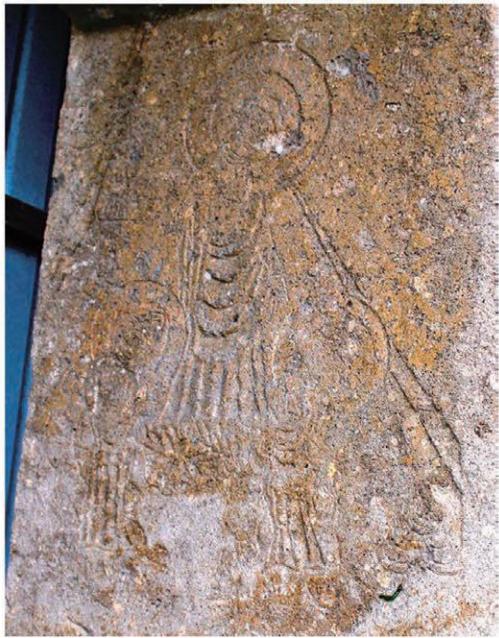
塔婆（そとうば）は死者の極楽往生を願い建てられるもので、板や石で造られます。石製の塔婆は板碑とも呼ばれ、表面に阿弥陀如来像等が線彫りや浮き彫りで彫り込まれています。

「安養寺の石造供養塔婆」は、沢井字東内打にある養寿山觀音院安養寺の境内にあります。阿弥陀如来を中心、両脇に觀音菩薩と勢至菩薩が彫られ、「阿弥陀三尊」を構成しています。

この石造供養塔婆の特徴は、線彫りと浮き彫りの両技法が一緒に用いられていることです。類例の少ない貴重な作風を示しています。さらに重要な点は、この阿弥陀如来像の上部両脇に「應長二年壬子正月廿日」（1312年）と彫られていることです。つまり、鎌倉時代後期、およそ700年前の製作であることが明確なのです。おそらく、石川氏に関係するこの地の有力者によって建てられたものであることは間違いない。石川地方の歴史を語る上で欠かせない重要な資料であり、平成8年（1996）6月1日、石川町文化財に指定されました。



→部分拡大  
阿弥陀如来を中心、右下部に觀音菩薩、左下部に勢至菩薩が彫られています。



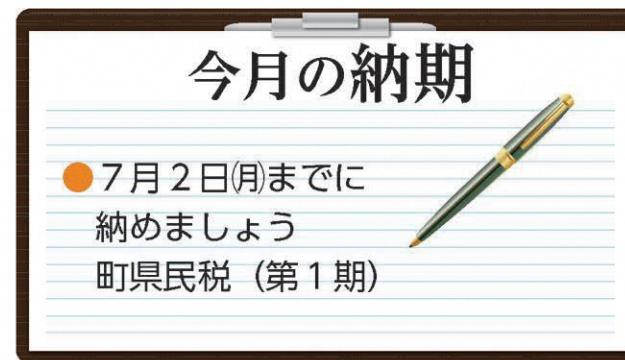
### 石川町立歴史民俗資料館 平成29年度実績

#### （3）主な活動

- ①企画展→「県の石」選定記念特別企画展「石川町のペグマタイト鉱物、片麻岩」展、図録発行
- ②講演会→「石川町の鉱物の魅力」（講師：長瀬敏郎東北大学准教授）町内外から多数の聴講者
- ③郷土教育→児童生徒対象の教育事業（鉱物・民俗・歴史）5校 274人
- ④鉱物保護収集委員会→8回実施（町内旧鉱山跡調査5回 視察3回：秋田大学鉱業博物館等視察等）
- ⑤鉱物教室→7回実施（採集3回 見学1回 講義2回 講演会1回）町内外から22名の参加
- ⑥資料調査・収集→調査：町内旧家多数 収集：歴史資料・民俗資料多数
- ⑦その他→教員研修への協力（「石川町教育ゼミナール」「石川地区小学校教育研究会」）  
古文書学習への協力（「中谷古文書を読む会」）

（1）開館日数→304日  
（2）入館者数→2214人

内訳（町内：597人 県内：1051人 県外：566人）



## 今月の納期

●7月2日(月)までに

納めましょう

町県民税(第1期)



(平成30年4月1日～4月30日までの届出分で  
掲載希望のあった方 敬称略)



## こんにちは赤ちゃん

氏名	保護者	住所
薄井 晴向	(政樹・よし美)	松木下
鈴木 佑幸	(正幸・夏子)	石田
関根 怜志	(良淳子)	境ノ内
吉田 東真	(傑敦美)	双里
金内 春朱	(匠さゆか)	大内



氏名	住所	氏名	住所
竹島真一郎	(古館)	遠藤 力ヨ	(山形)
渡辺 孝	(双里)	草野ヨシエ	(古館)
南條 金時	(坂路)	吉田タツヨ	(下泉)
山崎 フミ	(塩沢)	我妻枝久子	(形見)
丹内 フミ	(双里)	近藤 重夫	(沢井)
遠藤 ツル	(沢井)	渡邊 正男	(古館)
大森 新藏	(沢井)	藤澤 五郎	(沢井)

## TOWN EVENT CALENDAR

石川町6～7月の主な予定

### 6月 ●June

14 木			
15 金	子育てサロン(9:30～)	中谷自治センター	
16 土			
17 日	在宅当番医	ひらた中央病院(平田村)	
18 月			
19 火			
20 水	2歳児教室(9:30～)	保健センター	
21 木			
22 金	子育てサロン(9:30～)	中谷自治センター	
23 土			
24 日	在宅当番医	ひらた中央病院(平田村)	
	いしかわスキッズ広場 (10:00～12:00, 13:00～15:00)	中谷自治センター	
25 月			
26 火			
27 水			
28 木	3歳3か月児健診(13:00～)	保健センター	
29 金	子育てサロン(9:30～)	中谷自治センター	
30 土			

1 日	在宅当番医	あつうみ内科医院(玉川村)
2 月		
3 火		
4 水		
5 木	1歳6か月児健診(13:00～)	保健センター
6 金	子育てサロン(9:30～)	中谷自治センター
7 土		
8 日	在宅当番医	ひらた中央病院(平田村)
9 月		
10 火		
11 水	6～7か月児教室(9:30～)	保健センター
12 木	3～4か月児健診(13:00～)	保健センター
13 金	子育てサロン(9:30～)	中谷自治センター
14 土		



## 国保だより

70歳以上75歳未満の方の医療費の自己負担限度額が変わります

制度改正により平成30年8月から70歳以上75歳未満の方の自己負担限度額が変わります。現役並み所得者は所得を細分化して限度額が設定され、外来(個人単位)の限度額はなくなります。また、一般区分の方は外来(個人単位)の限度額が引き上げられます。なお、低所得者ⅡとⅠの方は変更ありません。

平成29年8月から平成30年7月まで

所得区分	外来(個人単位)の限度額	外来+入院(世帯単位)の限度額
現役並み (※1)	年収約370万円～ 課税所得145万円以上	57,600円 80,100円+(医療費の総額-267,000円)×1% [44,400円]
一般	年収約156万円～約370万円 課税所得145万円未満	14,000円 (年間144,000円上限) [※3] 57,600円 [44,400円]
住民税 非課税 (※2)	低所得Ⅱ 年金収入80万円以下等	8,000円 24,600円 15,000円

平成30年8月から

所得区分	外来(個人単位)の限度額	外来+入院(世帯単位)の限度額
現役並み (※1)	年収約1,160万円～ 課税所得690万円以上	252,600円+(医療費の総額-842,000円)×1% [140,100円]
	年収約770万円～約1,160万円 課税所得380万円以上	167,400円+(医療費の総額-558,000円)×1% [93,000円]
	年収約370万円～約770万円 課税所得145万円以上	80,100円+(医療費の総額-267,000円)×1% [44,400円]
一般	年収156万円～約370万円 課税所得145万円未満等	18,000円 (年間144,000円上限) [※3] 57,600円 [44,400円]
住民税非課税 (※2)	低所得Ⅱ 年金収入80万円以下等	8,000円 24,600円
	低所得Ⅰ	8,000円 15,000円

(※1)は同じ世帯に住民税課税所得が145万円以上の70歳以上75歳未満の国保被保険者がいる方です。ただし70歳以上75歳未満の方の収入合計が一人で383万円未満、二人以上で520万円未満の場合は申請し認められると一般となります。また、新たに70歳になる方の属する世帯の70歳以上75歳未満の方の年間所得(総所得金額等から基礎控除額33万円を差し引いた額)の合計額が210万円以下の場合も一般となります。

(※2)は世帯主及び国保被保険者が全員住民税非課税の方です。

【】内は過去12か月間に4回以上高額療養費の支給を受けた場合の4回目からの限度額です。

(※3)は前年8月1日から7月31日までの間の自己負担額の合計額に対しての算定基準額です。

◆お問い合わせ先 町民生活課 国保年金係 ☎ 26-9125

受動喫煙防止は家庭から  
5月31日～6月6日は禁煙週間です!

喫煙が健康に与える影響は大きいですが、本人は吸わなくても、たばこの煙を吸わされる受動喫煙は大変危険です。

受動喫煙の害から守るための一番の方法は禁煙です。特に、子どものいる家庭では、分煙ではなく禁煙できるようこの機会にチャレンジしてみましょう。

### 受動喫煙が引き起こす病気

子ども…中耳炎、呼吸器症状(ぜんそくの悪化)、肺炎、乳幼児突然死症候群等  
成人…脳卒中、鼻刺激症状、肺がん、心血管病、低出生体重児(妊娠の受動喫煙による)等

### 受動喫煙の誤解

- ①換気扇の下やベランダで吸えば家族に影響がない
- ②戸のすき間などから屋内に煙が流れ込むため、受動喫煙は防げません。
- ③たばこの煙のついた壁紙や衣類、物などでは受動喫煙は起こらない



たばこの煙成分は、部屋や衣類、物などに染み込むと、煙が消えた後も有害な物質を出し続け、健康被害を受けることがあります。(サード・ハンド・スモークという)  
喫煙室などは、そこを頻繁に利用する喫煙者にも危険な場所と考えられます。

③新型たばこ(加熱式電子たばこ)は煙が出ないので受動喫煙は起こらない

④加熱することで蒸気が出ています。蒸気も水蒸気ではなく、不凍液や乳化剤として用いられているプロピレングリコールなどの蒸気です。蒸気は目に見えにくいため、受動喫煙が起こっているのかが分かりにくく、かえって危険です。また、吸った人の呼気には、紙巻きたばこと同量のニコチンが含まれているため、受動喫煙を引き起こします。

お問い合わせ先 石川町保健センター ☎ 26-8416

# HAPPY SMILE

ハッピー スマイル



大竹 あやな 紗菜ちゃん(5歳)

りゅうせい 琉生くん(2歳)

翔護くん(6か月)



「お姉ちゃん、お兄ちゃんみたいに  
元気いっぱい大きくなつてね。」  
パパ・ママより 王子平

●「ハッピースマイル」では参加してくれるお子さん(3歳以下)を募集しています。気軽にお問い合わせください。

●ハッピースマイルは電子メールでも受付しています。必要事項を記入し写真画像を添えお送りください。

石川町役場総務課 26-2111 koho\_k@town.ishikawa.fukushima.jp



**職業**▶建設会社に勤め、主に事務仕事をしています。時折、現場にも赴くこともあります。事務と現場仕事の両方を経験することができ、毎日やりがいを感じています。

**Q** 今、情熱を傾けて取り組んでいることは何ですか。

**A** 今はアウトドアに没頭しており、春や夏など比較的暖かい季節は、友人や家族とバーベキューをしています。また、冬はスノーボードやスキーをして楽しんでいます。

**Q** 将来やってみたいことや夢を聞かせてください。

**A** 結婚をして、明るく楽しい家庭をつくることが夢です。

**Q** 将来どんな町になってほしいですか。

**A** 私もいつかは結婚し、子どもが生まれ、親になっていくので、そういう人たちが子育てをしやすいような魅力ある町になってほしいです。

**Q** 最後に理想のタイプは。

**A** 気さくで一緒にいて落ち着く人です。



菅野 紀之さん  
(20歳)



▶次回は、菅野さんの紹介で有松 愛華さんです。



## 編集後記

今月は南相馬市で全国植樹祭が開催されます。本県での全国植樹祭開催は、昭和45年に猪苗代町で行われて以来となり、全国からの多くの参加者により植樹が行われます。本県で植樹祭が行われることは、東日本大震災からの復興を進めていく中でとても力強い後押しになると思います。この機会に豊かな自然の恵みである「森林」について考えてみましょう。  
(山田)

### みんなで防犯 子ども防犯呼びかけ隊

今月の隊長 広報無線の声



石川 小学校 6年 福田 りなさん

Q毎日の通学などで気をつけていることは?  
Aいつも会う方に、行きは「おはようございます!」と声かけをし、帰りも会う方に「こんにちは!」と言っています。  
Q将来の夢を聞かせてください。  
A私の将来の夢は医者です。東日本大震災の時、私のおじの関根俊二先生が震災で苦しんでいる方々を助けている姿をテレビで見て、私も医師になりたいと思ったからです。

### 町の人口

●5月1日現在住民基本台帳 ● ( ) 内前月比

15,511人(	5)
男 7,629人(	7)
女 7,882人(	△2)
世帯数 5,690戸(	12)

### 町民憲章

- 自然と文化を愛し  
豊かな町をつくりましょう
- 親切と勤労をむねとし  
住みよい町をつくりましょう
- 歴史と未来をみつめ  
誇りある町をつくりましょう